

令和5年度 船橋市立塚田南小学校 学校経営方針

○次世代へ光輝く「教育立
県らば」プラン
・人生を主体的に切り拓く
ための学びの確立 ・道徳
性を高める心の教育の推
進 ・生涯をたくましく生き
るための健康・体力づくり
の推進 ・共生社会の形成
に向けた特別支援教育の
推進 ・人間形成の場とし
ての活力ある学校づくり ・
教育現場の重視と教員の
質・教育力の向上 ・多様
なニーズに対応した教育
の推進 ・家庭教育への支
援と家庭・地域との連携・
協働の推進 ・人生100年
時代を見据えた生涯学習
の推進

教育基本法、新学習指導要領、千葉県・船橋市教育振興基本計画の趣旨を踏まえ、創立3年目を迎えた令和5年度は、質の高い教育の推進と安全・安心な学校づくりを進め、保護者・地域の信頼に応える。

○船橋市教育大綱～船橋
市の未来のために～
船橋の教育2020
【社会状況の変化を受け
入れていく取り組み】
①多様性と人権への理解
を深める教育の推進
②複雑化する困難から子
供を守り、安心して学ぶ
ことができる環境の整備
③主権者教育の推進
④環境に関する学びの場
の提供
【子供たちと船橋とのつな
がりにより一層強化してい
く取り組み】
⑤「ふるさと船橋」への思
いの育み
⑥生涯学習への意識を育
む

学校教育目標

次代を担う子供たちの生きる力と夢を育む
かしこく やさしく たくましく

つかなんの合言葉 元気！ 本気！！ 大好き!!!

児童像

かしこく

やさしく

たくましく

- ・何事にも本気で挑戦する子
- ・主体的に学びに向かう子
- ・学び方を身につけた子
- ・よく考え、自分で判断し、思いを伝えられる子
- ・豊かな発想で創意工夫に努める子

- ・大好きをたくさん見つけられる子
- ・友だちを大切にする子
- ・相手の気持ちがわかる子
- ・人のために行動できる子
- ・素直に感動する子

- ・進んで元気な挨拶ができる子
- ・元気いっぱい遊ぶ子
- ・進んで運動する子
- ・安全に配慮できる子
- ・食べ物を大切にする子

ふるさと 塚田南小学校 の創造

教職員像

<信頼される教職員>

- ・塚田南小の教職員であることに誇りを持ち、愛情と情熱を持って児童に寄り添う教職員
- ・児童、保護者、同僚から信頼される教職員
- ・積極的に学校経営に参加する教職員
- ・学び続ける教師（確かな授業力、豊かな創造性と人間性、高い倫理観）

学校像

<信頼される学校・開かれた学校>

- ・いじめのない学校
- ・一人一人の児童を大切にする学校
- ・多様性を認め合う学校
- ・明るく元気いっぱいなあいさつが飛び交う学校
- ・安全で清潔な学校
- ・全員で教育目標を目指す学校
- ・児童の教育にふさわしい環境の整った学校

家庭・地域像

<家庭・地域との連携>

- ・児童が安心して生活できる場
- ・児童が落ち着いて学習できる場
- ・学校教育を理解し、連携して児童を育てる場（社会の担い手の育成、社会に開かれた教育課程）
- ・学んだことを生かし体験する場
- ・地域の教育力の活用（地域の人材発掘）

【経営の基本方針と具体的な手立て】

(1) 「わかる授業」を展開する

- ・学習規律の確立と、学習習慣の形成に努める（学習問題は青で囲む・黒板はきれいに・教室移動のときは机の上にものを置かない）
- ・基礎基本を定着する場面と思考力・表現力を醸成する場面をしっかりと分け、基礎基本の土台と学びに向かう力、すなわち集中力と発想力を育てる
- ・生きる力の育成に向け、学習指導要領の趣旨を理解して、教育課程を円滑に実施する
- ・教職員が自律的に研究・研修に励み、児童の実態と社会の変化を捉え、指導力・授業力の向上を図る
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む
- ・特別活動を要として、すべての教育活動を通してキャリア教育の推進を図る（地域人材活用）
- ・総合的な学習の時間の計画的実施と体験的学習等の効果的導入、プログラミング学習の取組を推進する
- ・学校図書館を積極的に活用し、読書を通して児童の読解力の向上を図る
- ・ICTを積極的かつ効果的に活用する

(2) 思いやりのある豊かな心を育む

- ・実践的な道德教育の充実を図り、日常のあらゆる場面、あらゆる機会を捉えて思いやりの心を育てる
- ・様々な機会を通じて人権教育の充実を図る（児童会活動等）
- ・あいさつ運動を推進し、気持ちの良いあいさつが飛び交う学校を目指す
- ・教職員の言葉遣いに十分気配りをし、言語環境を整える
- ・様々な「出会い」の場を大切にする（異学年や地域との交流学习等）
- ・人・動植物・物を大切にする（奉仕活動、清掃活動、栽培活動、飼育活動、等）
- ・読書活動を通して心を耕し、豊かな感性を育てる
- ・望ましい集団活動を通して、より良い学校生活への自主的・実践的な態度を育てる

(3) 進んで運動を楽しむ子を育成する

- ・正課時体育、体育行事の充実を通して体力の向上を図る（朝運動、休み時間、委員会主催体育的活動）
- ・体育施設・設備の整備・活用と教材・教具の工夫を図り、自己評価・相互評価を取り入れた体育学習を確立する
- ・体力テストや健康診断の結果を生かし、健康の保持増進に積極的に取り組む
- ・学校健康委員会を中心に、家庭と連携しながら生活習慣の確立に向け、啓発を図る
- ・生活安全・交通安全・不審者対応・災害対応等の指導を計画的に実施し、事故防止や危険予知能力の向上を図る

(4) 適切な対応による生徒指導の充実を図る

- ・いじめの未然防止、早期発見、早期対応を組織的に行う
- ・生徒指導の機能を生かした授業を実践する
- ・児童一人一人に寄り添い、積極的な生徒指導を推進する
- ・自己存在感を育み（居場所づくり）、共感的人間関係を育成し、豊かな人間関係づくりに努める

(5) 特別な支援を要する児童への切れ目ない支援を図る

- ・一人一人の児童に目を配り必要なニーズに応える
- ・「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」を作成し、充実した指導に生かす
- ・特別支援教育コーディネーターの役割と校内委員会の機能を生かし、特別支援教育の推進を図る
- ・ユニバーサルデザインの手法を取り入れた環境整備と学習支援を推進する

(6) 地域とともに歩む学校づくりに取り組む

- ・学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールを推進する
- ・教職員・児童・家庭・地域が心を通わせ、豊かな関係を大切にし、信頼される学校づくりを進める
- ・地域の人的・物的資源を積極的に活用する
- ・よりよい社会の担い手を育てるという目標を、学校・家庭・地域で共有する
- ・学校評価を生かし、家庭・地域と共に歩む学校づくりを推進する